3. 再生ビジョン

(1) 生野区の地域経営課題（解決の方向性）

課題を解決し、生野区の再生を実現するために…

今すでにある生野区のまちの強みや魅力、資源や潜在力を活かし、子どもたちや子育て世代に魅力的な教育と居住の環境を創出する。

＜目指すもの＞

まちのイメージがよい方向に変わっていき、子どもたちや子育て世代を中心とした人たちが流入し、地価の上昇、生野区全体の再生につながっていくことを目指す。

(2) 解決する手法としてのリノベーションまちづくり

生野区の地域経営課題をリノベーションで解決していき、生野区を再生していきます

“リノベーションまちづくり”とは

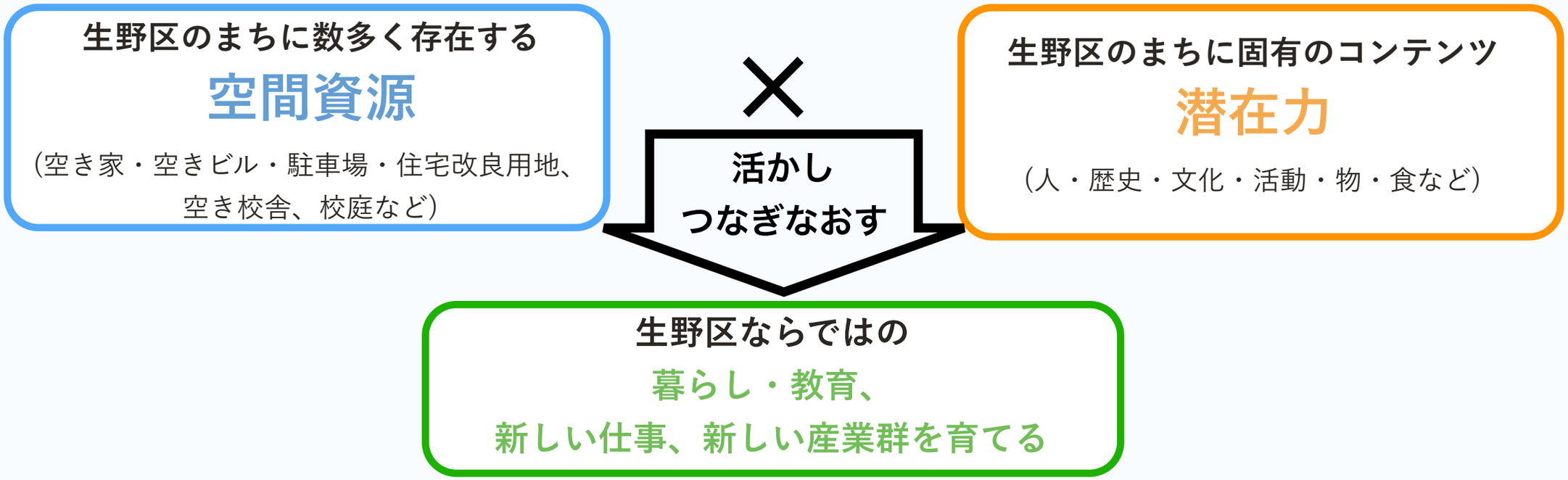
1　リノベーションまちづくりとは、生野区にあるもの・潜在力を活かし、新しい使い方をすることで、生野区のまちを再生すること

2　民間主導でプロジェクトを興し、行政がこれを支援する形で行う**“民間主導の公民連携”**が基本

3　具体的には、遊休化した不動産という空間資源と潜在的な地域資源を組み合わせて、
経済合理性の高いプロジェクトを興し地域を活性化しつつ、すべての人に居場所と持ち場のある社会的包摂の視点を大切にする

4　自分達の事業を持続的に経営・運営をしていくため、補助金には頼らない

5　結果、生野区ならではの、暮らし・教育、新しい仕事・産業群を育てることから、**生野区の地域経営課題を解決していく**



生野区の空間資源と潜在力をつなぎなおし、
生野区ならではの、暮らし・教育、新しい仕事・産業群を育てることから、
生野区全体の再生を実現していく

(3) 空間資源である小学校

小学校とは

学び
歴史
心の拠り所 **の場**
愛校心
交流
経験

全ての人々が参加可能で
「学び」を得られる場

「学び」とは

【学ぶ】大辞林
①教えを受けて知識や技芸を身につける。
②教えを受ける。業を受ける。習う。
③経験を通して知識や知恵を得る。わかる。
④まねる。

学びとは双方向です。環境から学び、
環境は学ばれ人の行動によって修正されます。
-アルバート・バンデューラ

「学問の追求」とは、何も古典文学を読みといたり、
歴史を学んだりするようなことを意味するのではない。
世界中の情勢を理解し、身の回りで、そして世界では一体何が起こっているのかに敏感に気づくことである。 -吉田松陰

年齢・立場によらず、
主体的なコミュニケーションから
新しい知識を得たり、発見したりすること

(3) 空間資源である小学校

「学び」という視点で、生野のまちをみてみると…

まちの空間、歴史、人、文化は
学びの宝庫

生野区ならではの「新しい学びのかたち（環境）」をつくることから、
生野区全体の再生を実現していく

人が集まる
知恵が集まる
学びたい気持ちが湧いてくる
誇りが生まれる

小学校という【学びの場】を活用した
まちの再生ビジョン

(4)再生のアプローチ：みんなの学校とまちぐるみ教育

みんなでつくる、
みんなで学ぶ、
このまちだけの、未来の学校

(4)再生のアプローチ：みんなの学校とまちぐるみ教育

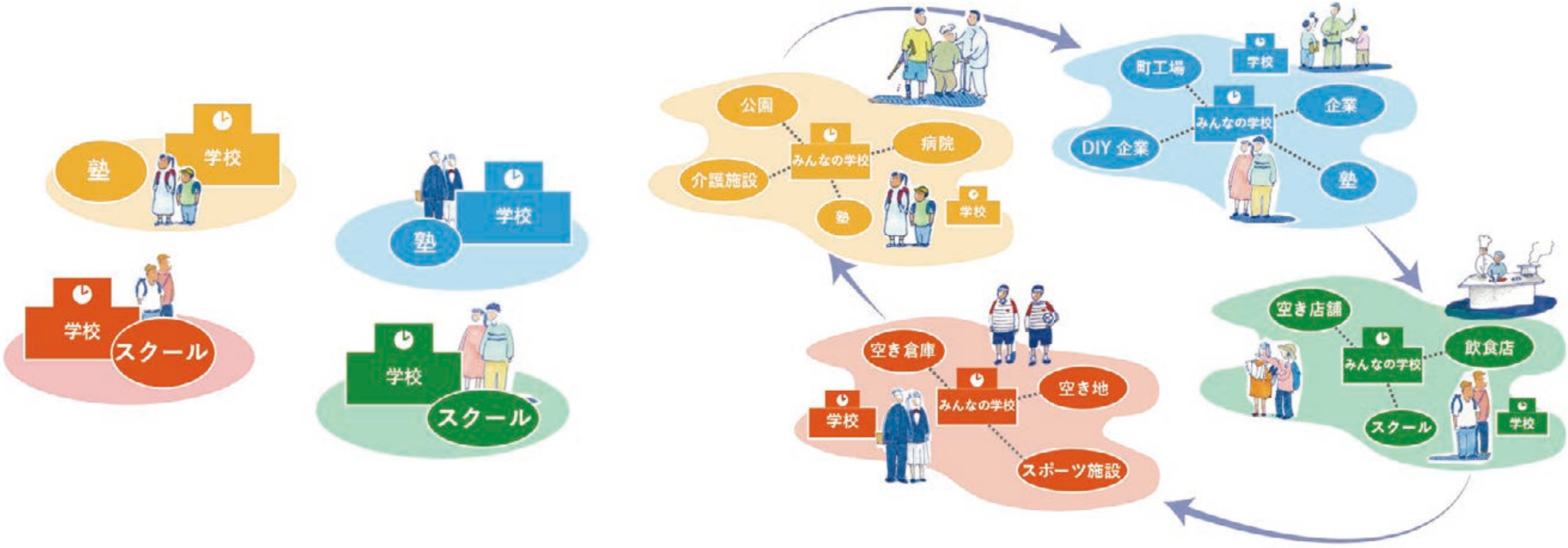
生野区の空間資源と潜在力を活かし・つなぎなおす

様々な“学び”に、生野区の人々が関われることで、生野区全体が学びの場になる

生野区ならではの、暮らし・教育、仕事を育てることから、

生野区全体の再生を実現していく

(5)学校再編を機に目指す新しい生野の教育



従来の教育と学校

教育は教育施設の中で行うことが多い

新しい教育

みんなの学校とまちぐるみ教育

まちの潜在力をつなぎなおすことで
まちのあらゆる場所が学びの場となり
人はあらゆる場所や学校と関われる

(5)学校再編を機に目指す新しい生野の教育

	従来の教育と学校	新しい教育 まちぐるみ教育とみんなの学校
	教育は教育施設の中で行うことが多い	まちの潜在力をつなぎなおすことで、まちのあらゆる場所が学びの場となり人はあらゆる場所や学校と関われる
Where どこで学べる？	学校、塾、スクール等	まちのあらゆる場所
Who 誰が学ぶ？	誰でも。 ただしお金を払って学ぶことが多い	誰でも。 ただしお金を介さない相互の学びもある
When いつ使える？	決められた時間、 もしくは事前に決めた時間	決められた時間、 事前に決めた時間だけでなく、土日を含めいつでも学べる機会もある
Why なぜ通う？	義務教育・受験等のため 自己実現のため	義務教育・受験等のためだけでなく、地域の人と交流ができるため、 学びたいことが学べるため
What 何を学べる？	教科や自分が選んだテーマの学び	教科や自分が選んだテーマの学びだけでなく、 地域の技術や文化を地域の人から学べる 新たな学びを発見し、気づきが得られる。 学びたいことがみつかる 教わるだけでなく、学んだことから新たな実践もできる
With whom 誰と学べる？	主に同じ属性の人と学ぶ いわゆる先生から学ぶ	同じ属性の人だけでなく、多世代・多国籍の人と学べる 地域の人から学べる